



岐大通 2013

2013 J.League Division2

第1節 横浜FC戦

3/3(日) 13:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C岐阜大好き通信(岐大通)

3/号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく&吉田鑄造

today's guest : 横浜FC 2012 J2 2勝 7分 13敗 勝ち点 73 第4位

Jリーグ「オリジナル10」のメンバーである『横浜フリューゲルス』の『横浜マリノス』への合併に際し、フリューゲルスのサポーターの活動により設立。設立当初は「ソシオ制度」によるクラブ運営など、独自色が際立っていた。設立時点よりJリーグ加盟に対する強い志向を持ち、特例によりJFL準加盟として創部1年目より全国リーグで活動。JFL2連覇(2年間で3敗しかしなかった)を経て200年にJリーグ加盟。2006シーズンの開幕戦の敗戦で監督が高木琢也氏に交替(第1戦終了での監督解任はJ初らしい)すると快進撃をみせ、見事にJ2で優勝、J1昇格を果たすが、翌年は最速でJ2への降格を決めてしまう。2012年は第3節の敗戦で監督が『横浜フリューゲルス』最後のキャプテン・山口素弘になるとチームは好転。シーズンを4位で終え昨季から導入された『J昇格プレーオフ』に臨むが、初戦で5位・千葉に敗れ6年ぶりのJ1昇格はならず。(吉田鑄造)

J参入時(08年~09年、松永監督)以来、3年振りに「2年目体制」を迎えるFC岐阜。昨シーズンに就任した行徳監督は、まず守備の再構築に着手して、それを現してみせてくれた。今年は、昨年のチーム作りを土台として上積みを重ねることが可能なシーズンだ。監督が希望するタイプの選手補強もされたことで、目指す「行徳サッカー」が更に確実なものになるだろう。

今年の補強を見てみると、昨年の弱点を補う選手を獲得することができたようだ。また、少ない選手数でシーズンを戦うために、複数のポジションがこなせる(いわゆるポリバレンツな)選手を揃えたり、各ポジションでスタメン争いをさせてチーム全体を活性化させる狙いも見える。チーム始動時にはFW不足が心配されたが、ブラジル人FW2人が加入して、バランスが取れたチーム編成になったと言えるだろう。その新加入選手の中でも注目したいのは、今年FC岐阜の「10番」を背負う男、美尾敦だ。正確な左足のキックや豊富な運動量、非凡な攻撃センスを誇るベテランの加入で、昨年はリーグワーストの得点力不足に泣いたチームが、今年は残留争いから脱出して中位に食い込む活躍を期待したい。

とはいえ、昨シーズン25得点の内、10点を挙げたチーム得点王の佐藤と6点(2位)の樋口がない今年、どのようにして得点までの形・流れをチームとして作っていくのか、未知数の部分があるのも事実だ。今日はホーム長良川での開幕戦で勝利し、そんなサポーターの不安を吹き飛ばしてもらいたいものだ。

さて、その開幕戦の相手は、昨年シーズン序盤は下位に低迷したが、交替した山口素弘監督の手腕で、最終的には4位と躍進した横浜FCだ。FW#34田原とFW#39「ジャンボ」大久保の2トップは健在だし、群馬(草津)からベテランMFの#36松下を獲得した、今期は上位争いが予想されているチームの一つだ。何より、横浜FCは昨シーズン最終戦の対戦相手。昨年の激しい残留争いを戦い抜いてタフになった(と思われる)FC岐阜が、このオフでどれくらい成長できたのかを図る絶好の相手、そして、昨季最終戦での悔しい敗戦をリベンジする絶好のチャンスでもある。また、横浜FCには「キング」カズことFW#1三浦知良が在籍しており、岐阜のMF#6服部選手とのベテラン対決も期待されたが、残念ながら先日のPSMで服部選手は負傷し、出場は厳しい状態になってしまった。しかし、(服部選手の替わりの選手もそうだが)開幕スタメンを勝ち取った選手たちの活躍と、幸先の良いスタートを是非とも期待したい。さあ、長くて激しい2013年シーズンの開幕だ。(ささたく)

2013J2

2012シーズンの対戦成績(リーグ戦)

神戸 (J1より降格)

G大阪 (J1より降格)

札幌 (J1より降格)

京都 0勝 0分 0敗 得点1 失点4

横浜FC 0勝 0分 0敗 得点2 失点5

千葉 0勝 0分 0敗 得点1 失点0

東京V 0勝 0分 0敗 得点2 失点4

岡山 0勝 0分 0敗 得点2 失点2

北九州 0勝 0分 0敗 得点2 失点2

山形 0勝 0分 0敗 得点1 失点2

栃木 0勝 0分 0敗 得点2 失点1

松本 0勝 0分 0敗 得点0 失点2

水戸 0勝 0分 0敗 得点1 失点2

熊本 0勝 0分 0敗 得点0 失点5

徳島 0勝 0分 0敗 得点0 失点3

愛媛 0勝 0分 0敗 得点1 失点1

群馬 0勝 0分 0敗 得点1 失点1

福岡 0勝 0分 0敗 得点0 失点3

富山 0勝 0分 0敗 得点2 失点3

鳥取 0勝 0分 0敗 得点2 失点3

岐阜

長崎 (JFLより昇格加盟)

昨季は「草津」と呼称。

編集子より

今シーズンも『岐大通』はホーム戦発行皆勤を目指してがんばります(笠松競馬でも宣言してしまいました)。よろしくお願致します。(編集担当:吉田鑄造)



本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23

tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど...

心の花が咲く...

何も無い店だけど...

心癒される...

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

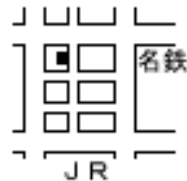
「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合う

アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は

JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:火曜(定休日が変わりました!)



次回 HomeGame

第3節 ザスパクサツ群馬戦

3/17(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

【PSM】岐阜 0-0京都

開幕を1週間後に控えたPSM、今年は京都サンガとの一戦。全体的に見れば、攻撃も守備もそこそこやれていたのではないと思う。ただ、京都も原一樹やサヌが出場しなかったなど、ベストメンバーではなかっただけにリーグ戦本番ではこんなものではないだろう。その辺は割り引いて見なければならぬ。

ただ、攻撃面に関しては美尾を中心とした攻撃はワクワクさせてくれるものがあった。特に後半左サイドでボールを受けて、不安定な態勢から中央で待つ平にピンポイントのクロス上げたプレーは驚きであった。やはり攻撃を司る選手がいるのといないのでは大きく違う。これだけでも今年のチームに対する期待が大きくなるというものである。次に守備面。やはりデズモンドの加入は大きい。関田とのコンビネーションもまずまずといったところか。その関田も昨年1年で大きく成長し、ディフェンスリーダーとしての風格すら窺わせる。昨年コンビを組んだ秀人が控えに甘んじるのも致し方ないところか。

ところで前半途中で大黒柱服部がケガで退き、翌日の診断で最低3月いっぱい実戦復帰が不可能になってしまった。開幕を前に大きな痛手であるのは間違いないところではある。

だがしかし終盤の大事な時期でなかったことは前向きに捉えたい。しかも服部も今年9月で40歳になるだけにいつまでも服部に頼ったサッカーをするわけにもいかないだろう。昨年のように全試合フルタイム出場することがむしろ異例中の異例であるといえる。逆に若手選手にとっては大きなチャンスであるの言うまでもない。服部がケガが癒えて戦列に復帰してもベンチを温めてもらうぐらいのつもりで頑張ってもらいたい。

ユニフォームスポンサーが初めて全て埋まるなど、明るい話題もあるが経営状態はまだまだ予断を許さない状況ではある。だが、我々サポーターは精一杯応援応援するのみ！選手たちの奮闘に期待！そして一つでも上の順位を目指していただきたい。で、願わくば楽な気持ちでシーズン終盤を迎えたいものである(笑)。

(岐阜の誇り)

あのニッパツ三ツ沢以来のナマ観戦。プレーオフ導入のおかげで例年より早く終わった昨シーズン。3ヶ月は長かった……。それでも、過ぎてしまえばアツという間だったかな？

しかし、晴れてくれてよかった。屋台の看板が飛んでいくような風、そしてエライ寒さ。これで、13時キックオフじゃなかったら……。なんてことは考えたくない(苦笑)。とはいえ、この日はメインスタンドからの観戦。しかも、スーパーシート！年に一度の酒を片手に岐阜を観ると決めてる日。幸い、風が入ってこなくてカイロなしでも最後まで観ることができた。

そんな中で始まった試合はスコアレス・ドロー。昨季の長良川での京都戦のような展開だったけど、ありがたいことに原一樹は出てこなかった(笑)。率直に言って、守備はなんとかかなりそう。デズ、関田の真ん中2枚は高さも足下も落ち着いていた。関田は昨季やれた自信かな？デズの能力は去年藤枝で彼をよく見てた仲間に聞いていたが、そのポテンシャルは予想以上。2人の壁は相当堅固なものだと思う。ここに秀人や回復後の新井が加われば層の厚さとしては申し分ない。それに野垣内もいる(この際、秀人は一列上げてボランチで使ってみる手はないだろうか？メドウでのロングシュートやオーバーラップなど、オフェンス能力はあると思うのだけど？)。右SBの新はさすがの安定感。逆に攻撃はまだまだだったけど、後半の美尾から平への流れは心が躍った。やっぱり、平はトップで使ってほしい。

1番は最初のシュートを枠に飛ばせる、いや、決めてくれるようになってほしいなあ。それでも、コンディションはこれからどんどん上がっていくだろう。楽しみにしている。心配なのは前半途中で交替した服部。自力で歩けたから大事を取っての交替か、と安堵したのだけれど半月板だったとはね。靭帯じゃないのは幸いだったが、90分戦える身体に戻すには全治見込みプラス数週間はかかるかも。キツイのは確かだけど、万が一のシミュレーションができたと思うしかない。ただ、開幕前のこの時期だったのは救い。終盤だったら、順位次第ではプレッシャーがかりまくりになること請け合いだった。若手には、服部が帰ってくるまで、もしくは、復帰してもポジションは渡さねー！くらいの流れになるの切に望む。

さて、とうとう来週から本番。どんなシーズンになるかわからないけど、できれば余裕を持って最終節に臨めるような成績を(苦笑)。ボクも及ばずながら、現地で声援を送ります！

あ、長良川屋台村は今季も抜群の安定感！コロッケから牛串、ハムフライにたこ焼き、そしてカレーを堪能しましたが、もっともっと食べたかった。本日のみ数量限定の蓬莱にゴリ酒と牛タンつくね串のコンビは昇天しそうだった。この屋台村に負けたくない試合内容をどうかよろしくお祈りしますよ、選手の皆さん！(ぐん、)

「なるほど、これが『2年め』ということなんだね」と納得できるスコアレスドローの試合だった。メンバーは変わったけれど、守備は「変わった」のではなく「よくなった」という印象が強い。特に右サイドの杉山新は、さすがスペシャリストといった感じ。中央のデズ&関田の壁もしっかり。ミスらしいミスもなかった。

一方の攻撃は、まだまだかなあ。美尾がボール持った時のワクワク感は昨年になかったものだけど、その先がまだ心もとない。逆に言えば、攻撃陣として加入した新戦力は信頼を勝ち得る大チャンスだ。大いに奮起してほしい。

最後に、服部のケガ。「早く」ではなく「しっかり」治して戦線復帰してください。そして「ケガは治したけど、居場所ないじゃん？」ってくらいにチームが成長して、服部のような大黒柱ですら「スタメン争い」をするような、そんな状況になると、なおいい。(吉田鑄造)

【ユース】今年は『G1』リーグです

新年あけましておめでとうございます(笑)。今年度もユースの情報をポチポチ投稿させて貰いますので、宜しくお願いします。

我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は、2013年度の主戦場は「G1リーグ」になります。岐阜県の2種(高校・ユース)年代のリーグ構成は県内は3部制。その上に東海プリンスリーグ、更にその上に全国規模のプレミアリーグが有り、G1リーグは県内のトップリーグとなります。岐阜県の高校では帝京可児のAチームがプリンスリーグに所属していますが、岐阜工業や各務原、大垣工業はG1リーグに所属しています。

昨年までのリーグ戦では比較的に実力差が有るチームとの対戦となりFC岐阜ユースが試合展開を握る事が多かったのですが、G1リーグではそんな訳にはいきません。県内の実力校と切磋琢磨してレベルアップを図り、初夏のクラブユース選手権、秋のJユースカップで結果を残せるように頑張って貰いたいものです。(1年でプリンス昇格目指せとは言えませぬ・・・苦笑)

G1リーグの日程等は新学期になってから発表されるでしょう。今から楽しみです。

頑張れよ！応援しているから！！FORZA！FC岐阜ユース！！(シュナ)